

# メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第138号

[2023年6月発行]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。  
JAMより、2023年6月号の会報をお送りします。

JAMは2008年3月に発足したNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。支援者の皆様へJAMの最新の活動を2カ月に一度、会報メールにて発信いたします。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## <目次>

年次総会および活動報告会 開催のご案内

2023年8月 JAMスタディーツアー開催予定・参加者募集

旧振込先 ゆうちょ銀行口座 閉鎖のお知らせ

現地（メソト）から

国内から：令和4年度 緊急支援のお礼とご報告

編集後記

次号の予定



## 年次総会 および 活動報告会 開催のご案内

いつも当会の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。  
令和4年度も皆さまに支えられ、様々な活動を実施することができました。

会員の皆様には、すでにメールにてご案内し、お申し込みもいただいております通り、  
来たる6月25日に、年次総会と有高医師による活動報告会をオンライン（Zoom）にて開催  
いたします。ご参加いただける会員様におかれましては、以下の詳細をご確認のうえ、事前  
にお申込を賜りたく存じます。途中入退室も可能ですので、お気軽にご参加くださいませ。

### 【年次総会】

日時：令和5年6月25日（日） 10時～11時  
内容：・令和4年度の事業及び決算報告  
・令和5年度の事業計画  
・理事及び監査の選出

### 【有高医師 活動報告会】

日時：令和5年6月25日（日） 11時～12時  
内容：日本NGO連携無償資金協力  
「タイ国のミャンマー人移民を対象とした新型コロナウイルス感染症に対する  
人道支援事業」活動報告

令和2年より現地に入り活動を続けてきた有高医師による活動報告です。主に、令和4年  
に実施した日本NGO連携無償資金協力による「タイ国のミャンマー人移民を対象とした新型  
コロナウイルス感染症に対する人道支援事業」についてご報告をさせていただきます。

当日は、メソトに滞在する有高医師とオンラインで繋がります。メータオ・クリニックやミ  
ャンマー国境の「今」を知ることができる貴重な機会でもありますので、一人でも多くの皆  
様のご参加をお待ちしております。

### 【申込方法】

申込フォーム (<https://tinyurl.com/2ex6vttt>) よりお申し込みください。  
折り返し、当日のZoomのURLをお送りいたします。

### 【申込締切】 令和5年6月24日（土）18時

総会は会員さま限定ですが、活動報告会にはどなたでもご参加いただけます。  
ミャンマー事情やNPO活動にご興味のある方がいらっしゃいましたら、お声がけいただき  
一緒にご参加いただけますと幸いです。

お申込後、当日のオンライン用のURLをメールにてお送りいたします。  
当日お申し込みがまだの皆様も、お時間が合いましたら是非ご参加ください。  
総会・報告会に関するご質問等は、[contact@japanmaetao.org](mailto:contact@japanmaetao.org) までご連絡ください。



## 2023 年 8 月 JAM スタディーツアー開催予定、参加者募集

今年の夏は、新型コロナウイルスによる規制が緩み、ようやく海外渡航の見通しが立ちましたので、2018 年以來、5 年ぶりの **JAM スタディーツアー** を開催する運びとなりました。

タイ・ミャンマーの国境地域には、国の情勢により、心身や人生に大きな影響を受け、希望の暮らしや進路を選んで生きること、必要な医療を受けることに困難を抱える方々が、未だ数多くおられます。

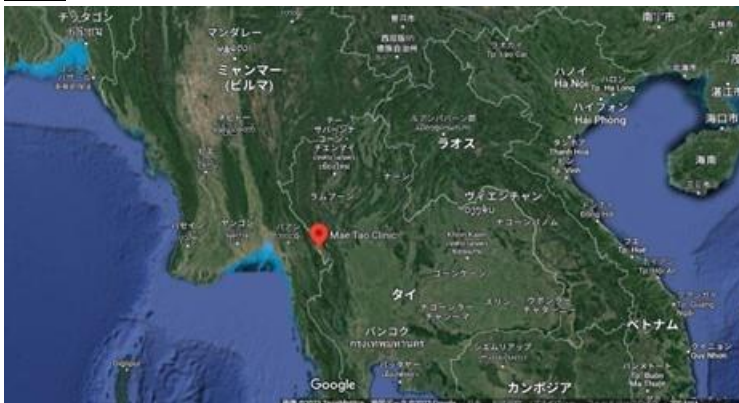
メータオ・クリニックをはじめ、タイ・ミャンマー国境の移民学校、難民キャンプ、資料館などを当会スタッフと一緒に訪問し、実際の支援現場の様子を見たり、話を聞いたりして学んでみませんか？

ぜひ、ご応募をお待ちしております！

### 〈スタディーツアー概要〉

**日時**： 2023 年 8 月 13 日(日)～8 月 18 日(金) 5 泊 6 日(バンコク集合・解散)

**場所**： タイ王国北西部ターク県メソト市



**内容** (※予定)：

- ・ メータオ・クリニック (Mae Tao clinic) 訪問
- ・ 移民学校 訪問
- ・ 難民キャンプ 訪問 (タイ政府の方針により、20 歳以上の方のみ)
- ・ 政治犯支援団体の資料館 訪問
- ・ メソト総合病院 見学
- ・ タイ・ミャンマー国境付近やメソト市内、マーケットの散策 など

☆内容詳細(スケジュール)は、現在調整中です。追って Facebook やメーリングリスト等でお知らせします。

**参加費用**： 13 万円



○参加費に含まれるもの：

タイ国内の移動費（バンコクからメソトまでの航空運賃、メソトでのバンの費用）、宿泊費、メラ難民キャンプ訪問費用、コーディネート費

×参加費に含まれないもの：

日本からバンコクまでの航空運賃、海外旅行保険料金、現地での食費、土産代など、個人的な支出

\*海外旅行保険への加入はツアー参加に必要なため、**必ず**各自で加入をお願いいたします。

\*ご入金後に参加者様の都合で参加をキャンセルされた場合、返金は致しかねます。

**対象**：1および2の条件を共に満たす方

1. JAM 賛助会員であること

\*非会員の方は、賛助会員になることが条件となります。賛助会員費として一般3,650円、学生1,825円が必要です。詳しくはJAMのホームページをご覧ください。

2. スタディーツアー後、報告会やその準備への参加が可能なこと

**定員**：原則5名

\*先着順です。希望者数が定員に満たない場合、催行を中止する可能性があります。

**申込締切**： **2023年7月14日(金)まで**

\*申込者が定員に達した場合、その時点でお申し込みを締め切らせていただきます。

**申込方法**：下記を明記の上、[support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org)（担当：神谷、吉河）宛にメールでお申し込みください。

・ メール件名：「2023年スタディーツアー申込」

・ 本文：

- 1) 氏名（フリガナ）
- 2) 住所（都道府県のみで構いません）、
- 3) 年齢、
- 4) 職業、
- 5) その他（ご希望があれば）

\*申込メールを確認後、担当より正式な申込用紙をお送りします。



写真左：メラ難民キャンプ外観



写真中、右：子供たちの様子



## 旧振込先 ゆうちょ銀行口座 閉鎖のお知らせ

JAMは現在、ゆうちょ銀行に2つの口座を持っています。

この度、NGO設立当初からNPO法人化するまで振込先として設定していたゆうちょ銀行の口座（008店の口座）は、7月3日をもって閉鎖することとなりました。

現在、ホームページ及び最新のパンフレット等に掲載し、多くの方にお振込先としてご利用いただいている、**ゆうちょ口座（018店、口座名にトクヒがついている）は引き続きご利用可能**です。

### 【閉鎖予定口座】

金融機関名：ゆうちょ銀行

店名：〇〇八店（ゼロゼロハチ店）

店番：008

口座名：メータオ・クリニックシエンノカイ

口座番号：10000-25770101

（他行からのお振り込みの場合 普通預金 2577010）

閉鎖予定日：7月3日（月）

### 【現在も利用可能で、今後も利用可能な振込先口座】

金融機関名：ゆうちょ銀行

店名：〇一八店（ゼロイチハチ店）

店番：018

口座名：トクヒ）メータオ・クリニックシエンノカイ

口座番号：10140-08960841

（他行からのお振り込みの場合 普通預金 0896084）

自動振込等で閉鎖予定口座を登録されております皆様におかれましては、お手数ではございますが、変更手続きを行って頂きますようお願いいたします。

ご不明点などございましたら、support@japanmaetao.org（担当：前川）までご連絡ください。



現地（メソト）から

【メソト：有高 奈々絵】



雨季に入ったメソトに、先日戻りました。

私事ですが、一時帰国中に右足小指を骨折し手術するというアクシデントがあったため、予定より遅れ、かつ杖をついての再渡航でした。空港では priority lane（優先レーン）に案内され、バスターミナルではチケット売り場の人がバスまでスーツケースを運んでくれ、チップも受け取らないという厚遇ぶりで、また困ったことがあった時は通訳を買って出る人が現れるなど、人の優しさが身に染みる旅になりました。反対に、初めて入院患者になってみて、勤務医時代から薄々感じていたことではありますが、医療機関がいかに患者ではなく医療者を中心に回っているかを実感しました。医療者は多忙なことがほとんどで、患者の心情より安全と業務の効率を優先せざるを得ないことは、私もよくわかります。しかし、立場の違いを超えて他者の感情を慮る、もし自分だったら、と想像してみるの言うは易し行うは難しで、経験しなければ結局はわからない、わかったつもりでいるのがいかにおこがましいことか、思い知らされました。NGOの現地派遣員という仕事をしていると、ものごとを支援者と被支援者という構図でとらえがちですが、もし自分が明日戦争や災害による避難民、難民になったら…と、もっとリアルに想像しなければと考えるきっかけになったのが、今回の骨折の収穫と思うようにします。

さて3か月ぶりのメータオ・クリニックは、変わらぬ顔ぶれとたたずまいで迎えてくれました。「誰かが寄付してくれたランチ」が大鍋でふるまわれ、スタッフも患者さんも一緒にいただくのも相変わらずで、メータオ・クリニックで働く最大の理由は無料でおいしい食事だと、軽口をたたくシニアスタッフもいるぐらいです。



メータオクリニック正面玄関にて



大鍋でふるまわれるランチ



今、メソトでは、2015年時点で難民キャンプに登録されていた難民を対象に、アメリカへの第三国定住の募集が再開されるというニュースが話題になっています。

ミャンマーでは1948年の独立前後から、ビルマ族主体の軍と、カレン族やカチン族などの少数民族武装勢力との内戦が断続的に続き、大きな戦闘が起きるたびに国境のタイ側に多くの人々が避難してきました。そのため、1980年代からタイ政府により、国境沿いに難民キャンプが設立され、現在も9つの難民キャンプに9万人以上のミャンマー人が居住しています。

キャンプの中では最低限の衣食住、ある程度の医療、高校（一部のキャンプでは junior college)までの教育が受けられますが、原則的にキャンプ外での居住や就労は禁じられています。そのため、教育を受けても就労の機会はキャンプ内の学校やクリニックなどに限られ、特に若い世代にとっては閉塞感の強い環境と言わざるを得ません。

キャンプを出る方法は三つあります。ミャンマーへの帰還、タイへの定住、そしてアメリカなどへの第三国定住です。ミャンマーへは2011年の民政移管、2015年の和平合意を経て、日本政府が後押しをしたレイケーコーへも含め、数千人が自主帰還したとされますが、2021年のクーデターによりその流れは逆戻りしました。自主帰還した人が、クーデター後、元いたタイ側の難民キャンプに舞い戻るといった皮肉な例もあるそうです。そしてタイへの定住は、タイ政府の方針で厳しく制限されているため、非常に困難です。その結果、アメリカ、オーストラリア、カナダなどの第三国に、2005年から2019年までに約11万人が定住しましたが、最大の受け入れ国であるアメリカは、2013年に募集を中止しました。そのアメリカが、2015年の登録者のみが対象であるにせよ、また手続きには1年以上かかるにせよ、受け入れプログラムを再開するという情報が舞い込んだのです。若い世代、とくに幼い子供を持つ人々の中には、自分は見知らぬ国で苦労したとしても、子供の教育と将来のために先進国で暮らしたいと希望する人が多くおり、バイタリティあふれる彼らにとっては待ち望んだ朗報です。

一方で2021年のクーデター以降にタイに逃れてきた人々は、もちろんこのプログラムの対象外で、そもそも現在タイ政府には、難民ではなく不法滞在者とみなされています。メソトで1年以上第三国定住を待ち続ける人も多く、国際政治の複雑さ、またミャンマーの歴史の皮肉さにやりきれない思いを抱きます。



メラ難民キャンプ外観

ミャンマー側では、ザガインやカレン州などでの戦闘や暴力行為が相変わらず激しく、現在もタイへ逃れる人は後を絶ちません。そのため、多くの移民学校が新しい子供たちを受け入れ、増えた生徒のために新しい校舎や寮の建設を急いでいます。



JAM が支援しているメソト近郊の移民学校も、他の NGO から資金を得て新校舎と寮を建設中です。ただ、子どもたちの安全のために学校を囲むフェンスと扉を建設しようとしたが、父兄からの寄付では費用の半額しか賄えなかったため、JAM に残額の支援が依頼されました。そのため、JAM はこれまでに賛助会員様などからいただいたご寄付から約 12 万円を提供し、現在フェンスと扉の建設が行われています。雨季が始まり、子供たちは屋根代わりのビニールシートの下で授業を受けています。建設が完了したら、子供たちに会いに行こうと思います。

JAM がこのようにタイムリーな対応をできるのもこれまで支援してくださったおひとりおひとりのおかげです。あらためて厚く御礼申し上げます。



建設中の移民学校



JAM が支援したフェンスと扉



ビニールの屋根の下で学ぶ子どもたち

最後になりましたが、JAM は来る 8 月 13 日から 18 日、メータオ・クリニックやメラ難民キャンプを訪問するスタディツアーを 5 年ぶりに開催します。詳細は追って JAM ホームページや Facebook でお知らせします。変化し続ける国境の現在を知るためには、現地に足を運んでいただくのが一番です。難民キャンプの訪問者制限のため、原則 5 名様までの募集になりますが、興味のお持ちの方、ミャンマー支援の最前線、メソトでお待ちしております！





国内から

【前川 由佳】

令和4年度 緊急支援のお礼とご報告

令和4年度もみなさまから温かなご支援をいただき 349,680 円の緊急支援金をメータオ・クリニックに届けることができました。当会一同、心より御礼を申し上げます

今回のご支援により実施された活動について、メータオ・クリニックより報告が届きましたので、共有させていただきます。

JAM からの緊急支援金は、ミャンマー南東部にあるレイケーコー国内避難民キャンプに送られました。ここには、一時的な避難施設として、近隣7つの村から来た976世帯が暮らしています。2023年4月、シュエココ地域で発生した戦闘の被害にあった村からやってきた家族もいます。

レイケーコー国内避難民キャンプの人口：3,634人

- ・ 5歳以下：男性166人 女性208人
- ・ 6-18歳：男性504人 女性485人
- ・ 18歳以上：男性1,113人 女性1,158人

メータオ・クリニックからは、主に、米や缶詰などのドライフードや、新鮮な食材などをレイケーコー国内避難民キャンプの方々に提供しました。食材だけでなく、衛生用品の提供や設備の整備なども行いました。必要とする方々に合わせたタイムリーな支援ができるのは、JAMを信頼してご寄付を託して下さった皆様のおかげです。心より感謝いたします。

2023年5月、食材を届けるためにキャンプを訪れた際の様子をご覧ください。

\*現地の事情により、顔などがわからないように写真を加工させていただいております。見づらいですが、ご了承ください。





2023年4月、国境沿いの避難施設においてメータオ・クリニックのスタッフが医療ケアを提供しました。この緊急対応における食事と交通費も緊急支援金で賄われました。



ご支援をいただき、誠にありがとうございました！

☆ JAM会報の「国内から」のコーナーに寄稿して下さる会員様を募集しています！☆

現在、このコーナーは、JAMスタッフが交代で書いておりますが、2023年の会報から、賛助会員の皆様との交流を目的に会員様からの寄稿も募集することにしました。メータオ・クリニックやJAMとの出会いに関するエピソードなどなど、ぜひお聞かせください。

ご興味のある方は、[support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org)（日本事務局宛）までお気軽にご連絡ください。

## 編集後記

手芸屋さんで、かわいいクマの編みぐるみの見本を発見。かぎ針編みの細編みだけで1玉で編めると書いてあります。かぎ針編みは、今まで一度もやったことがなく、初挑戦だったのですが、やってみると、とても楽しい！黙々と夜中に編み続けた結果、見本とは、全く異なるけれど、なんとか完成！

調子に乗って、すぐに2体目に取りかかりました。同じように作っているつもりなのに2体目は、見本とも1体目とも全く異なる新たなるクマちゃんが完成（苦笑）！

現在、3体目に挑戦中ですが、はてさて、どんなクマちゃんに仕上がるか楽しみです。少しずつ、上達している気はするので10体くらい編んだら、見本そっくりのクマちゃんができるようになるかな？

## 次号の予定

次号は、8月下旬ごろ配信の予定です。

最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新してまいりますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

NPO法人メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。支援の輪が広がっていけるよう、どうぞ当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年      【学生会員】1,825円/年      【法人会員】36,500円/年  
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。





NPO法人メータオ・クリニック支援の会  
Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て Eメール	support@japanmaetao.org
JAMウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 <a href="https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/">https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/">https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/</a>
Twitter	<a href="https://twitter.com/japanmaetao">https://twitter.com/japanmaetao</a>

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

